

令和元年度 男女共同参画に関する市民意識調査

【 アンケートご協力のお願い 】

日ごろから市政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

佐賀市では、男女共同参画社会（男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会）の実現をめざして取り組みを進めております。

このたび、男女共同参画に関する日常生活の実態や住民の皆様のご意見をお聞かせいただき、今後の取り組みに向けた基礎資料とするために調査を実施いたします。

このアンケートは、佐賀市にお住まいの16歳以上の方から無作為に抽出した2,300人の方にお送りしています。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありませんし、他の目的のために使うことはありません。また、お名前を記入していただく必要もございません。なお、結果の概要については、佐賀市ホームページ等にて公表いたします。

アンケートのご回答には、15分程度の時間を要すると思われませんが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和元年7月

佐賀市長 秀島 敏行

〔ご記入にあたってのお願い〕

1. アンケートは、封筒のあて名の方 ご本人が 記入してください。
2. 回答は、質問ごとに用意した答えの中から、あてはまる番号に○をつけてください。
3. 回答はすべて任意です。答えられる質問にお答えいただければ結構です。
4. ご記入が終わりましたら、7月26日(金)までに 同封の返信用封筒に入れて、返送してください。（切手を貼っていただく必要はありません。）
5. アンケートについて、不明な点やご質問がありましたら、お問い合わせください。

【 問い合わせ 】

佐賀市 市民生活部 人権・同和政策・男女参画課 （担当）南雲・芦原
TEL 40-7014 / FAX 34-4549
Eメール jinken@city.saga.lg.jp



あなた自身についておうかがいします



それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

Q 1 男女共同参画に関心がありますか

- 1 とても関心がある 2 どちらかといえば関心がある
3 どちらかといえば関心がない 4 全く関心がない

Q 2 あなたの性別をお答えください。

- 1 女性 2 男性 3 その他()

※体の性別や戸籍上の性別にかぎらず、心の性別（性自認）を選んでいただくことも可能です。

Q 3 あなたの年代をお答えください。

- 1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳以上

Q 4 あなたは結婚されていますか。

- 1 結婚している(事実婚等を含む) 2 結婚したが離別・死別 3 結婚していない

↓
※ 結婚している方にお尋ねします。

Q 4 共働きですか。(パートや内職を含む)

- 1 共働きである 2 共働きではない

Q 5 あなたの家族構成をお答えください。

- 1 ひとり暮らし 2 夫婦のみ(事実婚等を含む) 3 二世世代家族(親と子ども)
4 三世世代家族(親と子どもと孫) 5 その他(具体的に)



結婚や家庭生活についておうかがいします



問 1 あなたは結婚・家庭についてどのように考えますか。次のA～Cについて、あなたの考えに近い番号(1～5)に○をつけてください。**○は1つずつ**

賛	い	ど	い	反	わ
	え	ち	え		か
	ば	ら	ば		ら
	賛	か	反		な
	成	と	対		い
				対	

A 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

B 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」だと思う

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

C 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

問2 家庭での役割分担について、あなたはごどう思いますか。

① あなたは、家庭での役割を誰が行うべきと思いますか。次のA～Eについて、あてはまる番号（1～5）に○をつけてください。○は1つずつ

	主に妻（母）	主に夫（父）	度（父）が同じ程に分担	妻と夫（母と）	家族全員	その他
A 家計を支える（生活費を稼ぐ）	1	2	3	4	5	
B 炊事、掃除、洗濯などの家事	1	2	3	4	5	
C 子育てや介護など家族の世話	1	2	3	4	5	
D 自治会・町内会などの地域活動	1	2	3	4	5	
E PTA 活動などの学校行事への参加	1	2	3	4	5	

② あなたの家庭では、実際に誰がその役割を行っていますか。次のA～Eについて、あてはまる番号（1～5）に○をつけてください。○は1つずつ

	主に妻（母）	主に夫（父）	度（父）が同じ程に分担	妻と夫（母と）	家族全員	その他
A 家計を支える（生活費を稼ぐ）	1	2	3	4	5	
B 炊事、掃除、洗濯などの家事	1	2	3	4	5	
C 子育てや介護など家族の世話	1	2	3	4	5	
D 自治会・町内会などの地域活動	1	2	3	4	5	
E PTA 活動などの学校行事への参加	1	2	3	4	5	

問3 あなたは、1日に平均してどれくらいの時間を家事（育児・介護を含む）にかけていますか。次のA・Bについて、あてはまる番号（1～6）に○をつけてください。○は1つずつ

	全くしてない	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上
A 平日	1	2	3	4	5	6
B 休日	1	2	3	4	5	6

問4 仕事と生活についてお尋ねします。あなたは希望として何を優先したいですか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。**○はいくつでもかまいません**

※「地域・個人の生活」とは、自治会などの地域活動、個人の趣味や自己啓発などをさします。

1 仕事	2 家庭生活	3 地域・個人の生活
------	--------	------------

問5 それでは、あなたは現実に何を優先していますか。次の中から現実に近い番号に○をつけてください。**○はいくつでもかまいません**

※「地域・個人の生活」とは、自治会などの地域活動、個人の趣味や自己啓発などをいいます。

1 仕事	2 家庭生活	3 地域・個人の生活
------	--------	------------



教育・子育て・介護についておうかがいします



問6 あなたは、子どもの育て方について、どのような考えをお持ちですか。次のA～Fについて、あなたの考えに最も近い番号（1～5）に○をつけてください。※子どものいない方も、あなたがどう思われるかでお答えください。**○は1つずつ**

	賛	い	ど	い	反	わ
		え	ち	え	対	か
		ば	ら	ば		ら
		賛	か	反		か
		成	と	対		と
	成				対	い

A 女の子も男の子も、経済的に自立できるように育てたほうがよい

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

B 女の子も男の子も、炊事、掃除、洗濯など、生活していくために必要な技術を身につけるように育てたほうがよい

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

C 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てたほうがよい

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

D 女の子も男の子も、生まれ持った個性・才能を可能な限り活かして育てたほうがよい

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

E 女の子も男の子も同じ程度の学歴を持たせたほうがよい

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

問7 わが国では近年少子化傾向にありますが、その理由は何だと思いますか。次の中からあなたの考えに近い番号に○をつけてください。**○は3つ以内**

<p>1 子育てのための経済的な負担が大きいから</p> <p>2 子育てを支援するためのサービス（保育所・児童クラブ等）が不十分だから</p> <p>3 配偶者の育児に対する協力が少ないから</p> <p>4 生き方が多様化し、結婚・子育ての生活を選ばない人が増えたから</p> <p>5 雇用の不安など、将来の暮らしに希望が持てないから</p> <p>6 その他（具体的に</p>)
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

問8 あなたは、性差別（性別による差別）のない社会をつくっていくために、学校教育の場でどのようなことに力を入れたほうがよいと思いますか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。**○は3つ以内**

- 1 男女平等の意識を育てる授業をする
- 2 生活面の指導や進路指導において、男女を区別せずに子どもの興味・関心や能力を尊重する
- 3 教師自身の男女平等についての意識を高めるような研修を行う
- 4 校長や教頭に女性を増やしていく
- 5 児童生徒の年齢に応じた性についての教育を実施する
- 6 その他（具体的に)

問9 あなたは、男性が育児休業や介護休業をとることについてどう思いますか。次の中からあなたの考えに近い番号に○をつけてください。**○は3つ以内**

- 1 家族として当然である
- 2 男性自身の成長のためにも、とることが望ましい
- 3 職場の上司や同僚が育児休業や介護休業をとることに理解がないのでとりにくい
- 4 職場において育児休業や介護休業の制度が整備されていないためとれない
- 5 収入が減ると困るのでとれない
- 6 育児や介護は女性が適していると思うので、男性がとる必要はない
- 7 その他（具体的に)

問10 最近、介護をするために転職、離職する人が増加していますが、何が原因だと思えますか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。**○は3つ以内**

※平成29年 就業構造基本調査結果によると、平成28年10月からの1年間で9万9千人が介護離職しており、「介護と仕事の両立」が大きな課題になっています。

- 1 職場の上司や同僚に介護に対する理解がない
- 2 職場において介護休業などの制度が整備されていない
- 3 共働き家庭や単身者が増加しているため、家庭内に介護に専念する人がいない
- 4 介護サービスや施設などが整備されていない
- 5 介護と仕事を両立するための支援制度や相談窓口等の情報が得にくい
- 6 その他（具体的に)



職業生活についておうかがいします



問11 あなたは、「女性が職業に就くこと」について、どう思われますか。次の中からあなたの考えに近い番号に○をつけてください。**○は1つ**

- 1 女性は職業に就かないで、家事に専念するほうがよい
- 2 結婚や妊娠・出産するまでは、職業に就いているほうがよい
- 3 出産・育児期間は一時退職し、子どもが成長したら再び職業に就くほうがよい
- 4 結婚や出産後も、産休や育休なども利用しながら、ずっと仕事を続けるほうがよい
- 5 その他（具体的に)

問 1 2 あなたは、女性が仕事を続けていくうえで、障がいになっていることは何だと思いますか。次の中からあなたの考えに近い番号に○をつけてください。

○はいくつでもかまいません

- 1 結婚や妊娠・出産すると、仕事が続けにくい雰囲気が職場にある
- 2 昇進、昇給に男女格差がある
- 3 家事・育児・介護への家族の協力が不十分である
- 4 家事・育児・介護のための福祉制度や施設等が不十分である
- 5 その他（具体的に)
- 6 特に障がいはない

問 1 3 現在、女性が結婚や出産によって仕事をやめる場合がありますが、女性が再び仕事に就くために、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近い番号に○をつけてください。**○はいくつでもかまいません**

- 1 雇用の場を増やす
- 2 再就職のための講座や技術訓練等を充実させる
- 3 社会全体で「男は仕事・女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識をなくす
- 4 家族のための休暇がとりやすい職場や柔軟な労働時間を選べる職場を増やす
- 5 家族や夫の理解・協力を得る
- 6 保育施設や子育て支援サービス、高齢者介護の施設やサービスを充実させる
- 7 その他（具体的に)

問 1 4 あなたは現在職業に就いていますか。次のどちらかの番号に○をつけてください。

1 就いている（自営業・パート・内職を含む）

2 就いていない



問 1 6 へお進みください（次ページ）



問 1 5 職業に就いていない理由を次の中から選び、その番号に○をつけてください。

○はいくつでもかまいません

- 1 働きたいが仕事がないから
 - 2 経済的に働く必要がないから
 - 3 家事も立派な職業だから
 - 4 育児や介護等のため
 - 5 現在、学校に通っているから
 - 6 定年退職したため
 - 7 病気やけがなどのため、働ける状態ではないから
 - 8 その他
- （具体的に)

※ 問14で「1（職業に）就いている」と答えた方にお尋ねします。

問16 ① あなたは平均すると1週間に何時間働いていますか。2つ以上の仕事に就いている方はその合計でお答えください。ただし、仕事の休息時間は除きます。

② また、日数では週に何日働いていますか。（仮に、1日1～2時間でも働いていれば、1日と数えてお答えください。）下の枠の中に、それぞれ数字を記入してください。

① 時間/週 ② 日/週

問17 あなたは、今どのような形で働いていますか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。**○は1つ**

- | | |
|---------------------------------|--------|
| 1 事業主 | 2 正規社員 |
| 3 非正規社員（嘱託、契約社員、パートタイム、アルバイトなど） | |
| 4 家族従事者（家業のお店や農林漁業などに従事） | |
| 5 専業主婦（主夫） | |
| 6 その他（具体的に | ） |



健康・福祉についておうかがいします



問18 妊娠・出産・性生活にかかわる女性の権利・健康や、性感染症の予防について、みんなが互いに理解し合うためには、どのようなことが大切だと思いますか。次の中からあなたの考えに近い番号に○をつけてください。**○は1つ**

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 配偶者やパートナー間話し合い | 2 学校における女性の健康と権利に関する教育 |
| 3 性や健康についての相談窓口 | 4 パンフレットなどによる情報提供 |
| 5 講座の開催などによる学習機会の提供 | |
| 6 その他（具体的に | ） |

問19 あなたが「寝たきり」や「認知症」などにより、もしも在宅で介護を受けるようになった場合、誰に介護をしてもらいたいですか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。**○は1つ**

- | | | | |
|------------|------|---------------|--------|
| 1 配偶者 | 2 息子 | 3 娘 | 4 息子の妻 |
| 5 娘の夫 | 6 孫 | 7 ヘルパーなど介護専門職 | |
| 8 その他（具体的に | ） | | |



女性の活躍についておうかがいします



問 2 0 あなたの住まいの地域で、それぞれの分野でどれくらい女性が活躍していると思いますか。次のA～Gについて、あてはまる番号（1～4）に○をつけてください。

○は1つずつ

て と と も い 活 躍 し る	し あ る 程 度 活 躍 し る	て あ ま り 活 躍 し ない	し ほ と ん ど 活 躍 し ない
-------------------------------------------	-------------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------------

A 自治会

1	2	3	4
---	---	---	---

B 子ども会、PTA、部活動の役員など

1	2	3	4
---	---	---	---

C 消防団・防災関係

1	2	3	4
---	---	---	---

D 民生委員・児童委員

1	2	3	4
---	---	---	---

E 体育協会・スポーツ関係の行事

1	2	3	4
---	---	---	---

F 政治・議会

1	2	3	4
---	---	---	---

G その他(具体的に)

1	2	3	4
---	---	---	---

問 2 1 どのような分野で、もっと女性が活躍した方が良いと思いますか。問 2 0 の A～G の中から、あてはまる番号に○をつけてください。 **○は3つ以内**

A ・ B ・ C ・ D ・ E ・ F ・ G ・ 無し

問 2 2 あなたは、市の予算の使い方や市の方針を決めることについて、女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。

○は1つ

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 十分反映されている | 2 ある程度反映されている |
| 3 あまり反映されていない | 4 ほとんど反映されていない |
| 5 わからない | |

※ 問 2 2 で「3 あまり反映されていない」「4 ほとんど反映されていない」と答えた方にお尋ねします。

問 2 3 その理由は何ですか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。 **○は3つ以内**

- | | |
|----------------------------------------|------------------|
| 1 女性の市議会議員が少ない | 2 市役所の管理職に女性が少ない |
| 3 自治会のリーダーに女性が少ない | 4 男性の意識・理解が足りない |
| 5 市民の立場で市政に対する意見を述べる審議会や委員会などに女性委員が少ない | |
| 6 女性自身が意見を言う立場（自治会長、委員、議員など）になりたがらない | |
| 7 その他（具体的に) | |



LGBT についておうかがいします



問 2 4 あなたは、「LGBT」という用語を聞いたことがありますか。
次の中からあてはまる番号に○をつけてください。○は1つ

- | | | | |
|---|------------------|---|--------------------|
| 1 | 内容まで知っている | 2 | 内容までは知らないが聞いたことがある |
| 3 | 全く知らないし、聞いたことがない | | |

問 2 5 あなたは、下記のような取り組みについて、どのような考えをお持ちですか。次のA～Eについて、あなたの考えに最も近い番号（1～5）に○をつけてください。○は1つずつ

賛	い	ど	い	ど	反	わ
	ど	ち	え	ち		か
	ち	ら	ら	ら		か
	ら	か	か	か		ら
	か	と	と	と		な
成	成	対	対	対		い

A 制服選択制の導入

※ 学校の制服として、スカートかズボンか、ブレザーか学生服かなどを、性別にかかわらず、生徒各自が選べるようにすること。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

B 男女混合名簿の使用

※特に学校において、性別に関係なく、生年月日や五十音順などにより並べた名簿。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

C ジェンダーフリートイレ（みんなのトイレなど）の増設

※ 女性用トイレ、男性用トイレとは別に性別に関係なく使えるトイレ。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

D 同性婚の法制化

※ 女性と女性、男性と男性のカップルが法律上の結婚ができるよう立法すること。なお、同性婚は日本では法的に認められていないが、ヨーロッパ諸国やアメリカ合衆国等では法的に認められている。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

E パートナーシップ証明制度の導入

※ 同性どうしのカップルについて、結婚に相当するパートナー関係であることを公的に証明する制度で、東京都渋谷区や福岡市などが実施。ただし、法律婚とは異なり法的効力は無い。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---



地域活動についておうかがいします



問 2 6 あなたが自治会などの地域活動をする場合に、障がいになるようなことがありますか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。○は3つ以内

- | | | | |
|---|----------------|---|-----------------|
| 1 | 仕事が忙しすぎる | 2 | 家事が手いっぱい自由時間がない |
| 3 | 精神的にゆとりがない | 4 | 健康的・体力的に自信がない |
| 5 | 家族の理解や協力が得られない | 6 | 人づきあいがわずらわしい |
| 7 | どんな活動があるかわからない | 8 | 地域活動にメリットを感じない |
| 9 | その他（具体的に | |) |

問27 防災・災害復興時において、男女共同参画に根ざした対応をとるためには何が必要だと思いますか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。**○は2つ以内**

※東日本大震災時には、避難所でプライバシーが守られなかったり、共同作業の内容に男女で偏りがみられたりするなど、さまざまな問題が発生しました。

- 1 自治会等の地域の役員を男性も女性も積極的に担う
- 2 普段の地域活動において、性別で役割を決定しない（女性は炊き出し、男性は力仕事など）
- 3 地域において、女性の防災組織・リーダーを育成する
- 4 避難時に必要な知識や防災機材の取り扱い方等の研修会に男女ともに参加する
- 5 防災計画等の計画策定の段階から、男女双方の意見が反映できるような体制を整える
- 6 行政の防災担当者に女性を増やす
- 7 その他（具体的に _____）



人権についておうかがいします



問28 あなたは、この5年以内に夫婦や恋人同士などの親しい間の方からの暴力（DV）について、次にあげるようなことをしたり、されたりしたことがありますか。次のA～Gについて、あてはまる番号（1～4）に○をつけてください。**○は1つずつ**

されたことがある	したことがある	どちらもある	どちらもない
----------	---------	--------	--------

A 殴る、蹴る、物を投げる、物を壊す

1	2	3	4
---	---	---	---

B 怒鳴る、無視する、脅す、人格を否定するような暴言を吐く

1	2	3	4
---	---	---	---

C 生活費を渡さない、高価な買い物を勝手にする、ギャンブルに入れこむ

1	2	3	4
---	---	---	---

D セックスを強要する、避妊に協力しない

1	2	3	4
---	---	---	---

E メール・SNS・携帯電話をチェックする

1	2	3	4
---	---	---	---

F 家族や友人との付き合いを監視・制限する

1	2	3	4
---	---	---	---

G その他(具体的に _____)

1	2	3	/
---	---	---	---

※ 問28で1つでも「1 されたことがある」「3 どちらもある」と答えた方にお尋ねします。
該当しない方は問31へお進みください。

問29 あなたはそのような行為を受けたとき、どうしましたか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。**○はいくつでもかまいません**

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 相談等したかったが、我慢した | 2 謝ったり、なだめたりした |
| 3 家族・親族に相談した | 4 友人に相談した |
| 5 婦人相談所や市役所などの相談窓口で相談した | 6 医師やカウンセラーに相談した |
| 7 民間の支援グループに相談した | 8 警察へ通報した |
| 9 逃げた | 10 別居した |
| 11 離婚した・交際をやめた | 12 相談しようとは思わなかった |
| 13 相手方に直接、抗議した | |
| 14 その他（具体的に | ） |

※ 問29で「1 我慢した」や「12 相談しようとは思わなかった」と答えた方にお尋ねします。
該当しない方は問31へお進みください。

問30 それはなぜですか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。
○はいくつでもかまいません

- 1 どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから
 - 2 子どもへの悪影響を避けたかったから
 - 3 相手方や自分の親族との関係が悪くなると考えたから
 - 4 相談しても無駄だと思ったから
 - 5 相談したことがわかると、仕返しをされたり暴力がさらにひどくなると思ったから
 - 6 自分さえ我慢すれば、何とかこのままでやっていけると思ったから
 - 7 世間体が悪い、恥ずかしいと思ったから
 - 8 自分にも悪いところがあると思ったから
 - 9 相談するほどのことではないと思ったから
 - 10 その他（具体的に
- ）

問31 あなたは新聞・雑誌・テレビなどのメディアやインターネット・SNS・ゲーム等における性や暴力の表現についてどう思いますか。次の中からあなたの考えに近い番号に○をつけてください。**○は2つ以内**

- 1 そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないようにする配慮が足りない
 - 2 性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ
 - 3 女性や子どもに対する犯罪を助長する恐れがある
 - 4 女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現をしている
 - 5 その他（具体的に
 - 6 特に問題はない
- ）

問3 2 次のような行為はセクシュアル・ハラスメントやマタニティハラスメントですが、あなたは、この5年以内に職場・学校・地域でしたり、されたりしたことがありますか。次のA～Kについて、あてはまる番号（1～4）に○をつけてください。**○はいくつでもかまいません**

※セクシュアル・ハラスメントとは、性的な言動により相手方を不快にさせ、その者の生活環境を害すること。また、性的な言動に対する相手方の対応によりその者に不利益を与えること。

※マタニティハラスメントとは、働く女性が妊娠・出産を理由に解雇・雇止めをされることや、妊娠・出産にあたって職場で受ける精神的・肉体的なハラスメントのこと。

さ した 見 見 見 見
 れ た た た た た
 た こ こ こ こ こ
 こ と と と と と
 が が が が が
 あ あ あ あ あ
 る る る る る

A 「男のくせに根性がない」「女には仕事を任せられない」
 「女性は職場の花だ」など差別的な言葉を言う

1	2	3	4
---	---	---	---

B 「結婚はまだ？」「子どもはまだ？」としつこく言う

1	2	3	4
---	---	---	---

C 性的な冗談や質問、ひやかしの言葉を言う

1	2	3	4
---	---	---	---

D 相手をじろじろ眺めたり、容姿を話題にしたりする

1	2	3	4
---	---	---	---

E 恋愛関係や結婚生活について、しつこく尋ねたり、噂を流す

1	2	3	4
---	---	---	---

F 接待や宴会で、酌やデュエット等、異性の隣への着席を強要する

1	2	3	4
---	---	---	---

G しつこくつきまとう

1	2	3	4
---	---	---	---

H さわる、抱きつく

1	2	3	4
---	---	---	---

I 地位や権限を利用して食事に誘ったり、性的関係を迫ったりする

1	2	3	4
---	---	---	---

J 妊娠・出産を理由に、職場に居づらくなる扱いを受ける

1	2	3	4
---	---	---	---

K 子育てのために休暇や早退を取ることを非難される

1	2	3	4
---	---	---	---

※ 問32で1つでも「1 されたことがある」と答えた方にお尋ねします。

該当しない方は問34へお進みください。

問33 そのことについて、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。はいくつでもかまいません

- 1 上司・同僚・先生に相談した
- 2 学校や職場内の相談窓口で相談した
- 3 公的機関（労働局・県・市の相談窓口など）に相談した
- 4 民間の支援グループに相談した
- 5 家族・友人・知人に相談した
- 6 その他（具体的に _____）
- 7 誰（どこ）にも相談しなかった

問34 あなたは、性暴力（性犯罪、売買春、パートナーからの暴力、セクシュアル・ハラスメントなど）をなくすためには、どうしたらよいと思いますか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。はいくつでもかまいません

※こうした性暴力については、性別を問わず、誰もが被害者になりえます

- 1 法律・制度の制定や見直しを行う
- 2 法律に盛り込まれた施策を十分に展開する
- 3 加害者を更生させる制度を整える
- 4 被害者が安心して相談できる窓口を確保する
- 5 被害者を保護するための施設を整備する
- 6 家庭や学校における男女平等や性についての教育を充実させる
- 7 職場における男女平等意識を徹底させる
- 8 その他（具体的に _____）



男女平等・男女共同参画社会についておうかがいします



問35 あなたはこれまでに、男女平等や男女共同参画について話し合ったり学習したりしたことがありますか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。

はいくつでもかまいません

- 1 友人やパートナーと話し合ったことがある
- 2 夫婦や親子など家族の間で話し合ったことがある
- 3 研修会や公民館の講座などに参加したことがある
- 4 学校や大学で学んだことがある
- 5 その他（具体的に _____）
- 6 ない

問36 あなたは、男女共同参画に関する次の用語などを聞いたことがありますか。次のA～Gについて、あてはまる番号（1～3）に○をつけてください。**○は1つずつ**

	知っている	内容までは知らないが聞いたことがある	全く知らないし、聞いたことがない
A 佐賀市男女共同参画を推進する条例	1	2	3
B 佐賀市男女共同参画計画パートナーシップ21	1	2	3
C 4月14日 パートナーデー	1	2	3
D ジェンダー	1	2	3
E ワーク・ライフ・バランス	1	2	3

問37 あなたは現在、次のA～Eの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あてはまる番号（1～6）に○をつけてください。**○は1つずつ**

	女性が優遇されている	どちらかの性別が優遇されている	男女が平等	どちらかの性別が優遇されている	男性が優遇されている	わからない
A 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
B 職場で	1	2	3	4	5	6
C 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
D 地域や社会活動の場で	1	2	3	4	5	6
E 政治の場で	1	2	3	4	5	6
F 法律や制度に関して	1	2	3	4	5	6
G 就職・採用の際に	1	2	3	4	5	6



ご自由にお書きください



男女共同参画について、ご意見・ご要望がありましたら、どのようなことでも結構ですので、具体的にお書きください。

～ご多用なところ、調査にご協力いただきありがとうございました～

同封の返信用封筒にこのアンケート票をお入れいただき、7月26日（金）までにポストに投函してください。切手は貼らなくて結構です。

佐賀市 市民生活部 人権・同和政策・男女参画課

◆用語解説◆

・ジェンダーとは…

人間が生まれついてもっている「生物学的性別」とは別に、社会的・文化的に作り上げられた「社会的性別」のことをいう。社会や文化によって作り上げられた『女は女らしく／男は男らしく』とか『女は／男は、このように行動すべき』というような意識や慣習のこと。

・ワーク・ライフ・バランスとは…

仕事と生活の調和。一人一人がやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる状態のこと。

・LGBTとは…

「L」レズビアン：女性として女性が好きな人

「G」ゲイ：男性として男性が好きな人

「B」バイセクシュアル：好きになる相手が同性の場合も異性の場合もある人

「T」トランスジェンダー：生まれた時の性にとられない生き方をする人

の4つの頭文字。心の性別や、好きになる相手の性別において、社会の多数派と異なるとされる人たちは「性的少数者」とも称される。LGBTは、その代表的なタイプの人たちで、性的少数者全体の総称としても用いられることがある。

佐賀市では女性も男性もよきパートナーとしてやさしく認め合い、イキイキと暮らすことのできる社会をめざしています。

そこで、2月14日のバレンタインデー、3月14日のホワイトデーにちなんで、4月14日を“パートナーデー”とし、お互いを大切に思いやり、家族や友人・職場の同僚など、あなたの大切な人に感謝の気持ちを伝える日としています。

メッセージカードを同封していますので、日ごろ言えない「感謝の心」を、カードに綴って贈ってみてはいかがでしょうか。

一人ひとりの個性を大切に

4.14 パートナーデー

Partner day

本当にしたいことは何ですか
心から感じるものは何ですか
大人も子どもも お年寄りも若者も
自分らしく生きることのできる社会であるために
「男だから…」「女だから…」と思うのを
やめてみませんか